

入選

私にできる事

射水市立小杉中学校 二年 若林 沙英

「シャワーの水止めてよ。」

お母さんに言われて、浴室に戻るとシャワーからポタポタと雫が落ちていました。私は蛇口を緩く閉めてしまう事が多いので、よく注意されます。それを見て私はしぶしぶ蛇口を強く閉めました。

ある日学校でSDGsに関する宿題が出ました。宿題は十六項目あるSDGsから一つ選んで、調べ、クラスで発表するというものでした。その授業でクラスメートが「安全な水とトイレを世界中に」というテーマで発表していました。その内容は世界中には安全な水やトイレが使えない人がたくさんいるということでした。私はハッとしました。自分の生活を思い返してみると、節水できていないときがあると気付いたからです。それまで私は、水はいつでも使えて、きれいな水が出るのが当たり前だと思っていました。だけど、その発表を聞いて私は、水のためにできる事をするようにしようと決意しました。そこで自分にできる身近な事をインターネットで調べました。すると、節水を心がけ、習慣にする事が大切だと分かりました。家庭内での水の使われ方では、お風呂が四十パーセントを占めていて、その次にトイレ、炊事、洗濯と続いているそうです。やはり、私がシャワーの蛇口を緩く閉めているのは、良くなかったのです。なのでお風呂から上がるときは、水がポタポタと落ちていないか確認するようにしたいです。他にもお風呂では、残り湯を上手に活用するという方法もあるそうです。これは、植物の散水や洗車などの普段の生活に再利用できるだけではなく、災害が起こったときにも使えて便利です。お風呂は一つの浴槽で二百リットル近い大量の水があります。そのため、断水時でもトイレや洗濯に利用できるのもとても良いと思いました。次にトイレです。トイレは大小のレバーを使い分けると良いそうです。炊事では、食器や食材を洗うときにため洗いをするると一日約四十四リットルも

節水できるそうです。蛇口は一分間で約十二リットルの水が出るので、あまり流しっぱなしにしないようにしたいです。

これを通して、節水すれば節約にもなつて一石二鳥だと思いました。知らなかった事がたくさんあったので驚きや発見がありました。家では、自分の生活を見直して節水を意識するようにしています。また、節水する人が増えればもつと地球に優しい社会になると思います。私は運動した後には飲む水がすごく好きです。のどにすつと通る冷たい水がすつきりしていて、おいしいです。だけど、世界にはこうやって水を飲めない人がたくさんいます。生きるために欠かせない水。清潔じゃなければ、健康に大きな影響を与え、コレラや赤痢などの感染症の原因になるそうです。それを知ったとき、私はとてもショックを受けました。中学生の私にはできない事があるけれど、今できる事をやって「安全な水とトイレを世界中に」の目標に少しでも貢献したいです。